

60号記念!先輩薬剤師からの激励part1

ダラダラ社会人になった私が、日々多忙とを感じる中でも、どっぷりこの仕事に浸かっているのは、薬害を通して経験したことが理由かな…。それは、先輩たちが薬害問題に関わった歴史をきちんと継承してくれたからこそ!

その大大先輩に「勝手に60号記念!」のメッセージを頂戴しました。

♡東京医療問題研究所 平林政子さん♡

私が薬剤師になりたての70年代後半は、原因不明の奇病と言われたスモン病の障害が、キノホルム剤の服用が原因であると72年調査研究協議会により報告された後で、訴訟の最中だった。片平先生らと「社会薬学」を提唱された故・高野哲夫氏(当時の新薬学研究者技術者集団代表)に初めてお会いしたのは、金沢の薬害スモン訴訟シンポジウムに参加した時だった。高野氏は「くすりと私たち 現代日本の薬害問題」72年汐文社の著者である。そのまえがきで「医薬品産業は、独占化・巨大化とともに大量消費の方向を固定化し、単に不当な利益を病める人々から収奪するにとどまらず、人々の健康を蝕み、破壊する敵対物にまで転化した。・・貿易の自由化は、アメリカ資本の直接支配を許し、より一層無慈悲なやり方ですすめられるでしょうし、規模も一層大きくなるものと考えられます」。今読み返すと、その後40数年間に起きた HPV ワクチン禍に至る薬害の根深さと、問題の本質は変わっていないことを痛感する。TPPはその延長線上にあると肝に銘じたい。



全日本民医連学運交 HPV ワクチン調査

「飴ちゃんあげるう～」と、おばさん? 鬼? いきなり
ナイスコスチュームの方々に迎えられた～第12回全日本
学術運動交流集会 in 大阪～に行ってきました。



- 700もの演題の中で2演題の HPV ワクチン接種後の調査報告がありました。
- 静岡民医連; 接種者へのアンケート&その結果を踏まえ今後の対応についての医師アンケートを行い考察したという報告。接種者へのアンケート送付 253名から96名の有効回答が得られ、副反応は44名有 注射部位疼痛88件、筋痛関節痛15件、起立性調節障害1件 でした。5名常勤医師よりアンケート回収。厚労省の心身反応説を否定できないがそれだけではないのでは、ワクチンの有効性は不明では、SE 調査が不十分だったなど
 - 埼玉協同; 接種後の副反応の実態を把握し、情報提供を行う為の資料を得、未来への不安を含め必要な救済のあり方の検討を目的とした調査。接種総数162名のカルテ調査、一部アンケート調査、副反応疑い接種者への聞き取り調査。副反応は接種後高熱が4日続いた、背中痛み、頭痛、長引く風邪など
- 両報告から、因果関係など判断は難しいが、実態がいくらかでも把握できたのではないかと思います。埼玉協同の報告では、「使用者責任として未知の異常の発生とも経年的に向き合っていきたい」というまとめも印象に残りました。

薬いろいろ;菅野先生講演から(添付文書の読み方10の鉄則から)

添付文書の読み方は医師と薬剤師で異なるのかな?→医師は正しく処方を出すためにと添付文書を読むそうで、だから始めの方から。薬剤師はもちろん正しく処方されているかのチェックで同じ動線のことも多いのですが、どうしてこの病気に効くのかな?これって何者?注意することあるかな?尾ひれ羽ひれ…だいたい薬剤師は後方から注目しますね…と。

安全性では冒頭の黒枠は外せませんが、臨床成績(臨床試験での有効性と安全性)→薬効薬理→構造式→薬物動態→使用上の注意(慎重投与→特別な集団への投与)。患者さんを目の前にしてそんな時間はないけど、そこを熟読すると「これって何者?」の答えに少しでも近づくのかな。